

一般財団法人日本食品分析センター 品質保証への取り組み

日本食品分析センターは、『分析試験を通じて「健康と安全」をサポートし、社会の進歩・発展に貢献します。』を実現するために、中立・公正な立場で正確に分析試験を行い、常に技術の向上とその質の確保に努めてまいりました。これからも食品・薬事・生活環境の分野で質の高いサービスを提供し、お客様の課題解決を支援いたします。

私たちは、ISO9001の認証を取得し、品質マネジメントシステムを確立・運用しています。試験項目に応じてISO/IEC17025の試験所認定を取得しておりますが、一般的な依頼についても以下のISO/IEC17025に要求されている事項を基本的に満たしています。

1. 広く認められ妥当性を確認した試験方法
2. 校正された機器及び国家標準にトレーサビリティのある標準物質★
3. 技術的能力のある分析試験者★
4. 検体と結果のトレーサビリティの確保
5. 整備された試験環境
6. 内部精度管理 (Internal Quality Control) の実施★
7. 国内外の技能試験への積極的な参加★

★校正された機器及び国家標準にトレーサビリティのある標準物質

お客様のニーズに応えるために、多種多様な分析機器を多数保有しています。測定のトレーサビリティを確保し、分析試験の信頼性を確保するために、標準物質を用いて適切に管理しています。17025認定項目は国際MRA対応のため、可能な限り使用する標準物質も国際MRA対応としています。



認証標準物質 (CRM)

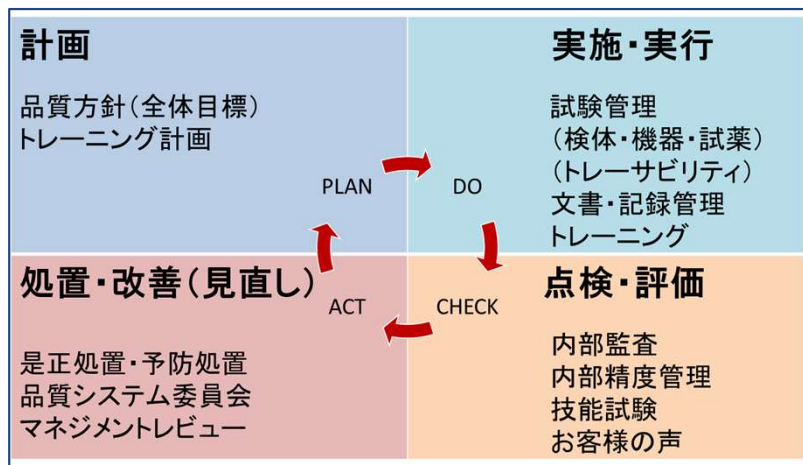


★技術的能力のある分析試験者

トレーニングは年間計画に基づきすべての職員を対象とし、職務に応じて実施しています。必要な技能と知識を習得し、資格・権限が付与された後も技能評価等でそのスキルが維持されていることを確認しています。



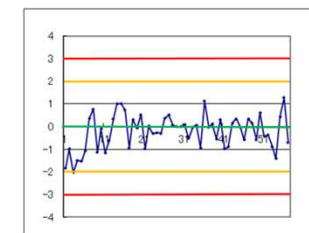
品質マネジメントシステムのPDCAサイクル



★内部精度管理 (Internal Quality Control) の実施

試験の信頼性を評価する(操作及び測定結果を監視する)ため内部精度管理(内部質管理)を計画・実施します。この結果は分析法バリデーション(不確かさの推定を含む)や試験員の技能の評価にも用いることができます。

採用基準内であっても、お客様からのお問合せ等々の試験結果に疑義が生じた場合には、すべてのプロセスを再確認する仕組み(再試験含む)があります。



★国内外の技能試験への積極的な参加

食品化学検査分野FAPAS (Food Analysis Performance Assessment Scheme) などの国際的な技能試験に50項目以上及び国内の法令に基づく外部精度管理調査に定期的に参加しています。